



# Enterprise Configuration

---

この章では、Admin Portal の Enterprise Configuration オプションについて説明します。

このオプションでは、Active Directory サーバ、Microsoft Exchange サーバ、および Cisco Unified Communications Manager サーバと通信するように Cisco Unified Mobility Advantage を設定します。

## エンタープライズアダプタ

エンタープライズアダプタは、Cisco Unified Mobility Advantage と次のさまざまなサーバとの接続を定義します。

- 社内ディレクトリサーバ (Active Directory)
- 個人の連絡先、カレンダー、ユニファイドボイスメールサーバ (MS Exchange)
- コール制御サーバ (Cisco Unified Communications Manager)

エンタープライズアダプタの初期設定については、『*Cisco Unified Mobility Advantage Installation Guide*』で説明しています。次の項では、追加のアダプタを追加する方法、既存のアダプタを編集または削除する方法について説明します。

## エンタープライズアダプタの編集

この項では、エンタープライズアダプタ設定値を編集する方法について説明します。エンタープライズアダプタ設定値を編集した後に、Managed Server を再起動する必要があります。Managed Server を再起動すると、設定値の変更が有効になります。詳細については、[P.5-3 の「Cisco Unified Mobility Advantage サーバの起動と停止」](#)を参照してください。

エンタープライズアダプタ情報を編集するには、次の手順を実行します。


### 手順

---

**ステップ 1** Enterprise Configuration > Enterprise Adapters を選択します。

既存のすべてのアダプタが表示されます。

Cisco Unified Mobility Advantage を接続する Exchange サーバおよび Active Directory サーバごとに、少なくとも 1 台以上のアダプタが存在する必要があります。コール制御サーバはオプションのため、システムによってはこのアダプタがない場合もあります。

**ステップ2** 編集するアダプタを見つけ、**Edit** アイコン  をクリックします。

選択したアダプタの設定値が表示されます。

- MS Exchange 設定値：P.3-2 の「MS Exchange 設定値」を参照
- Active Directory 設定値：P.3-4 の「Active Directory 設定値」を参照
- Cisco Unified Communications Manager Server 設定値：P.3-6 の「Cisco Unified Communications Manager Server 設定値」を参照

## MS Exchange 設定値

設定する MS Exchange 設定値のタブを選択します。

- Basic Setting (表 3-1 を参照)
- Connection Pooling (表 3-2 (P.3-3) を参照)
- Voicemail Setting (表 3-3 (P.3-3) を参照)

**表 3-1 MS Exchange : Basic Setting**

Basic Setting	説明
Host Name/IP Address	Exchange サーバのホスト名または IP アドレス。
Port	Cisco Unified Mobility Advantage Enterprise Server を Exchange サーバに接続する際に使用するポート。  SSL を使用しているかどうかによって、ポートは異なります。一般的な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 非 SSL : 80</li> <li>• SSL : 443</li> </ul>
Enable SSL	Cisco Unified Mobility Advantage Enterprise Server と Exchange サーバ間のセキュリティに SSL を使用するかどうかを決定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yes : SSL セキュリティを使用します。</li> <li>• No : SSL セキュリティを使用しません。</li> </ul>
Exchange Domain	Exchange サーバのこのインスタンスのドメイン名。
User Name Suffix	ユーザの社内 E メールアドレスを完成するために適用されるサフィックス。ほとんどの場合、このフィールドは空白です。インストールで使用されることは、ほとんどありません。  ユーザの E メールアドレスが Active Directory から特定できない場合にのみ、必要になります。
Polling Period (sec)	連絡とユニファイドボイスメールのアップデートのために、Exchange サーバにポーリングする頻度を決定します。  デフォルト設定を推奨します。ポーリング周期が短いと、Exchange サーバと Cisco Unified Mobility Advantage サーバのパフォーマンスに悪影響を与えることがあります。

表 3-2 MS Exchange : Connection Pooling

Connection Pooling	説明
Max Connections	Cisco Unified Mobility Advantage Enterprise Server と Exchange サーバ間の最大同時接続数。
When Exhausted	最大接続数を割り当てた場合、最大数を超える接続の要求によってプールを大きくするか、要求をキューに入れるかをこの設定値によって決定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Block : 要求をキューに入れます。</li> <li>Grow : 接続プールを大きくします。</li> </ul>
Max Wait Time (秒)	「When Exhausted」フィールドで「Block」を選択した場合、許容される最大「待機」時間 (秒)。
Max Idle Connections	指定された時間にアイドル状態を維持できる最大接続数。この最大接続数を超えた場合、サーバは接続の切断を開始します。

表 3-3 MS Exchange : Voicemail Settings

Voicemail Setting	説明
Filter Field Name	社内ボイスメールメッセージをそれ以外のタイプのメッセージと区別するために使用するフィールドを決定します。  デフォルトは <code>class_id</code> です。その他のオプションは、 <code>subject</code> 、 <code>from</code> 、 <code>to</code> 、および <code>cc</code> です。
Filter Value	メッセージが「社内ボイスメール」メッセージの場合、「Filter Field Name」と識別されたフィールドの値。  組織に適した固有の値を入力します。
Voicemail System Email	Cisco Unity の E メール正規表現で、Unity が送信者を解決できないボイスメールメッセージの「from」フィールドに使用されている E メールアカウントを特定します。
Phone Number Search Field Name	発信者の電話番号を検索するためのフィールド。次の例を参考にしてください。  <b>Subject</b>
Phone Number Search Pattern	Phone Number Search Field Name フィールドで使用する必要のある検索パターンの正規表現。次の例を参考にしてください。  <b>[0-9]{4,}</b>

## Active Directory 設定値

設定する Active Directory 設定値のタブを選択します。

- Basic Setting (表 3-4 を参照)
- Advanced Settings (表 3-5 を参照)
- Exchange Lookup (表 3-6 (P.3-5) を参照)

表 3-4 Active Directory : Basic Settings

Basic Setting	説明
Host Name/IP Address	社内ディレクトリ サーバのホスト名または IP アドレス。
Port	Cisco Unified Mobility Advantage Enterprise Server を社内ディレクトリサーバに接続する際に使用するポート。  デフォルトは 389 です。
Admin DN	管理ログインに使用される認定者名 (Active Directory の「読み取り」権限を持つすべてのアカウント用)。
Admin Password	Active Directory を読み取るために Admin DN と共に使用するパスワード。
Authentication Type	現時点では、 <b>Simple</b> 認証タイプがサポートされています。
Connection Type	Cisco Unified Mobility Advantage Enterprise Server と社内ディレクトリサーバ間で使用する接続のタイプ。plain オプションと SSL オプションがサポートされています。  SSL を選択する場合は、必ず SSL ポートを指定します。
Polling Period	アダプタが社内ディレクトリサーバに更新のためにポーリングする頻度を確立するための時間 (日数)。

表 3-5 Active Directory : Advanced Settings

Attribute Names	説明
Distinguished Name	ユーザの認定者名を表す Active Directory のアトリビュート名。次の例を参考にしてください。  <b>distinguishedName</b>
First Name.	ユーザの名を表す Active Directory のアトリビュート名。次の例を参考にしてください。  <b>givenName</b>
Last Name	ユーザの姓を表す Active Directory のアトリビュート名。次の例を参考にしてください。  <b>sn</b>
User ID	ユーザの社内での名前を表す Active Directory のアトリビュート名。次の例を参考にしてください。  <b>sAMAccountName</b>
Key	ユーザの Distinguished Name を表す Active Directory のアトリビュート名。次の例を参考にしてください。  <b>distinguishedName</b>

表 3-5 Active Directory : Advanced Settings (続き)

Attribute Names	説明
Home Phone	ユーザの自宅の電話番号を表す Active Directory のアトリビュート名。次の例を参考にしてください。 <b>homePhone</b>
Work Phone	ユーザの勤務先の電話番号を表す Active Directory のアトリビュート名。次の例を参考にしてください。 <b>telephoneNumber</b>
Mobile	ユーザの携帯電話番号を表す Active Directory のアトリビュート名。次の例を参考にしてください。 <b>mobile</b>
Email	ユーザの E メール アドレスを表す Active Directory のアトリビュート名。次の例を参考にしてください。 <b>mail</b>
Search Settings	説明
Filter criteria	Cisco Unified Mobility Advantage が、社内ディレクトリ サーバ内の社内ユーザとそれ以外の社内リソースを区別できるようにします。従業員レコード以外のレコードをフィルタリングする際に使用します。
Search Base	ユーザの検索を開始する階層レベル（組織ユニットなど）を指定します。
Follow Referral	Cisco Unified Mobility Advantage Enterprise Server が社内ディレクトリサーバからの参照を許可するかどうかを指定します。

表 3-6 Active Directory : Exchange Lookup

Exchange Lookup 設定値	説明
Contact Adapter	ユーザの論理 Exchange Server リソース名を表す Active Directory のアトリビュート名。次の例を参考にしてください。 <b>msExchHomeServerName</b>
DNS Host Name	論理 Exchange Server リソースの実際の DNS ホスト名を表す Active Directory のアトリビュート名。次の例を参考にしてください。 <b>dNSHostName</b>
Contact Adapter DN Mask	Contact Adapter 値のマスク。
Contact Adapter Search Base	論理リソースを検索するために使用する検索ベース。

## Cisco Unified Communications Manager Server 設定値

Cisco Unified Communications Manager サーバの設定値を設定するためのタブを選択します。

- Server Settings (表 3-7 を参照)
- Dial Plan Settings (表 3-8 を参照)

表 3-7 Cisco Unified Communications Manager : Server Settings

Server Setting	説明
Call Manager Host Name/ IP Address	Cisco Unified Communications Manager サーバのホスト名または IP アドレス。
User Name	<p>Cisco Unified Mobile Communications Manager ユーザのログイン名。</p> <p>Cisco Unified Mobile Communications Manager アプリケーションのユーザ名とパスワードの組み合わせを最大 4 つ入力します。</p> <p>Cisco Unified Mobility Advantage はこれらの Cisco Unified Mobile Communications Manager アプリケーションのユーザ名を使用して Cisco Unified Communications Manager サーバに接続し、関連付けられたデバイス上のコールを監視し、コール ログ機能を提供します。これらの Cisco Unified Communications Manager ユーザ名では、CTI サポートを有効にする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified CallManager バージョン 4.x: ユーザ設定の <b>Enable CTI Port</b> をオンにします。</li> <li>• Cisco Unified Communications Manager バージョン 6.0 または 5.1 : エンドユーザを <b>Standard CTI Enabled</b> グループに割り当てます。</li> </ul> <p>詳細については、『<i>Cisco Unified Mobility Advantage Installation Guide</i>』を参照してください。</p>
Password	上記で割り当てられた Cisco Unified Communications Manager ユーザに関連付けられたパスワード。
Call Manager Version	<p>Cisco Unified Communications Manager サーバ ソフトウェアのバージョン。</p> <p>この値を変更する前に、Cisco Unified Mobility Advantage Server をシャットダウンします。</p>

表 3-8 Cisco Unified Communications Manager : Dial Plan Settings

フィールド	定義
Area Code	コール制御サーバの区域内通話可能地区に対応するエリアコードを入力します。
Country Code (CC)	国に割り当てられている、コール制御サーバのコールコードを入力します。米国の場合は、 <b>1</b> です。
Dial Out Prefix	社外番号にダイヤルするための、コール制御サーバで設定されるプレフィックスを入力します。たとえば、 <b>9</b> などです。
National Direct Dialing Prefix (NDD)	国内の区域内通話可能地区以外の場所にダイヤルする場合のプレフィックスを入力します。たとえば米国の場合は、 <b>1</b> です。
International Direct Dialing Prefix (IDD)	自国から外国にダイヤルする場合に必要なプレフィックスを入力します。米国の場合は、 <b>011</b> です。

表 3-8 Cisco Unified Communications Manager : Dial Plan Settings (続き)

フィールド	定義
Extension Regex	<p>このフィールドで設定される正規表現は、次の用途に使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コール制御機能により Cisco Unified Mobile Communicator が監視する内線番号を特定する。</li> <li>• 着信コールまたは発信コールを内線コールとして識別する。着信コールまたは発信コールで受信した電話番号 (ANI/DNIS) は、内線専用の形式 (社内でダイヤルされたコール) または完全なローカル番号形式 (ダイヤルイン) のいずれかです。</li> </ul> <p>次の例を参考にしてください。</p> <p>エリアコードが 408 (NPA = 408)、Direct Inward Dialing Prefix が 625 (NXX = 625)、Cisco Unified Communications Manager サーバで定義されている Directory Numbers (内線) が 3xxx または 4xxx という形式の場合を例にします。このユーザの DID は 408-625-3xxx または 408-625-4xxx になります。</p> <p>内線を監視するための正規表現は [3-4][0-9]{3} になります。</p> <p>着信コールまたは発信コールで受信した ANI/DNIS と内線番号を照合するには、プレフィクスパターンを正規表現に追加する必要があります。この場合、プレフィクスパターンは 625 です。サーバが監視用に内線番号のみを抽出するには、内線パターンのグループ化が必要になります。グループ化は、丸かっこで囲みます。上記の例を使用すると、内線の正規表現は次のようになります。</p> <p><b>(?:625)?([3-4][0-9]{3})</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プレフィクスグループの後にある「?」は、これがオプションであることを示します。</li> <li>• プレフィクスグループ内の丸かっこの中にある「?:」は、このグループをカウントしないようエンジンに指示しています。このように、番号内のプレフィクスの有無により、エンジンは最初のグループを内線番号として抽出できます。</li> <li>• {3} は、前の正規表現(上記の例では [0-9] などの部分)の桁数です。</li> </ul> <p>サーバは、設定済みのプレフィクスを使用してこれらの番号に追加したものを自動的に照合します。このようにして、エリアコードが 408 に設定されている場合、上記の正規表現によってサーバは 4086253125、6253125、および 3125 を内線番号として識別できます。</p>
Local Number Regex	<p>地域内でダイヤルできる番号と照合する正規表現を入力します。北アメリカの場合は、次のようになります。</p> <p><b>[2-9][0-9]{6}</b></p>
National Number Regex (NDD を除く)	<p>国内でダイヤルできる番号と照合する正規表現を入力します。NDD は自動的にこの対象になるので、正規表現の一部として指定する必要はありません。北アメリカの場合は、次のようになります。</p> <p><b>[2-9][0-8][0-9][2-9][0-9]{6}</b></p>

## エンタープライズアダプタの追加

この項では、エンタープライズアダプタを追加する方法について説明します。エンタープライズアダプタを追加した後に、Managed Server を再起動する必要があります。Managed Server を再起動すると、設定値の変更が有効になります。P.5-3 の「Cisco Unified Mobility Advantage サーバの起動と停止」を参照してください。

エンタープライズアダプタを追加するには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** Enterprise Configuration > Enterprise Adapters を選択し、既存のアダプタを表示します。

**ステップ 2** Add new adapter をクリックします。

**ステップ 3** 表 3-9 に示す情報を入力または選択します。

表 3-9 アダプタの追加

設定	説明
Adapter Type	アダプタ タイプを次から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Active Directory は企業のコンタクト サーバに適しています。</li> <li>MS Exchange は個人のコンタクト サーバに適しています。</li> <li>Cisco Unified Communications Manager はコール制御サーバに適しています。</li> </ul>
Adapter Name	アダプタ名を入力します。
Description	アダプタの説明を入力します。

**ステップ 4** Submit をクリックします。

**ステップ 5** アダプタの設定値を次のように設定します。

- MS Exchange 設定値については、P.3-2 の「MS Exchange 設定値」を参照してください。
- Active Directory 設定値については、P.3-4 の「Active Directory 設定値」を参照してください。
- Cisco Unified Communications Manager 設定値については、P.3-6 の「Cisco Unified Communications Manager Server 設定値」を参照してください。

## エンタープライズアダプタの削除

Exchange サーバアダプタと Active Directory サーバアダプタが必要です。これらのサーバには、少なくとも 1 台のアダプタがある必要があります。

アダプタを削除するには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** Enterprise Configuration > Enterprise Adapters を選択し、既存のアダプタを表示します。

**ステップ 2** 削除するアダプタを見つけ、横にある Delete をクリックします。



## Manage Adapter Services

Manage Adapter Services オプションでは、表 3-10 に示す各サービスへのシステムの接続を定義します。

表 3-10 Manage Adapter Services

サービス	説明
Call Control Service	Cisco Unified Mobility Advantage を社内 PBX に統合し、Cisco Unified Mobile Communicator でのオフィス電話のコール ログの表示機能を提供します。  このオプションは、少なくとも 1 台の Call Control アダプタが追加された場合に有効になります。
Voicemail Service	Cisco Unified Mobility Advantage を社内ボイスメール システムに統合し、Cisco Unified Mobile Communicator でのボイスメールの表示機能とダウンロード機能を提供します。  このオプションは、少なくとも 1 台の MS Exchange アダプタが追加された場合に有効になります。
Conference Service	Cisco Unified Mobility Advantage を社内会議システムに統合し、Cisco Unified Mobile Communicator での会議通知機能と表示機能を提供します。  このオプションは、少なくとも 1 台の Exchange アダプタが追加された場合に有効になります。

### Call Control Service

Call Control Service との接続を設定するには、次の手順を実行します。

#### 手順

**ステップ 1** Enterprise Configuration > Manage Adapter Services を選択します。

**ステップ 2** Call Control Service タブを選択します。

**ステップ 3** 表 3-11 に示す設定値を選択または入力します。

表 3-11 Call Control Service 設定値

設定	説明
Enable Corporate PBX Integration	Cisco Unified Mobility Advantage を社内 PBX に接続し、Cisco Unified Mobile Communicator でのオフィス電話のコール ログの表示機能を提供するかどうかを選択します。
Maximum Expiry of Call Logs (days)	自動クリアされるまで、エンド ユーザがコール ログ データを受話器に保存できる最大日数を入力します。

**ステップ 4** Submit をクリックします。

**ステップ 5** Managed Server を再起動し、設定値を有効にします。

## Voicemail Service

Voicemail Service 接続を設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1 Enterprise Configuration > Manage Adapter Services を選択します。
- ステップ 2 Voicemail Service タブを選択します。
- ステップ 3 表 3-12 に示す設定値を選択または入力します。

表 3-12 Voicemail Service 設定値

設定	説明
Enable Corporate Voicemail Integration	Cisco Unified Mobility Advantage を社内ボイスメールシステムに接続し、Cisco Unified Mobile Communicator でのボイスメールの表示機能とダウンロード機能を提供するかどうかを選択します。
Maximum Expiry of Voicemails (days)	自動クリアされるまで、エンドユーザがボイスメールデータを受話器に保存できる最大日数を入力します。

- ステップ 4 Submit をクリックします。
- ステップ 5 Managed Server を再起動し、設定値を有効にします。

## Conference Service

Conference Service との接続を設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1 Enterprise Configuration > Manage Adapter Services を選択します。
- ステップ 2 Conference Service タブを選択します。
- ステップ 3 表 3-13 に示す設定値を選択または入力します。

表 3-13 Conference Service Settings

設定	説明
Enable Conference Integration	Cisco Unified Mobility Advantage を社内会議システムに接続し、Cisco Unified Mobile Communicator での会議通知機能と表示機能を提供するかどうかを選択します。

- ステップ 4 Submit をクリックします。
- ステップ 5 Managed Server を再起動し、設定値を有効にします。